

令和7年度第2回府中市移動等円滑化促進方針等推進協議会 議事要旨

1 開催日時

令和8年2月24日（火）13時00分～14時30分

2 場所

府中市役所 府中駅北第2庁舎 6階打合せ室

3 出席者等

(1) 出席委員（16名・名簿順）

江守会長、大門副会長、清水委員、平井委員（オンライン）、堀口委員（オンライン）、野田委員（オンライン）、高須委員、能松委員、河井委員、太田委員、成川委員（オンライン）、阿部委員（オンライン）、土方委員、荒金委員、高野（佳）委員、山田委員

(2) オブザーバー（代理）出席（5名）

東日本旅客鉄道株式会社八王子支社 名取氏（倉科委員代理・オンライン出席）、京王電鉄株式会社 野村氏（濁澤委員代理・オンライン出席）、西武鉄道株式会社 田中氏（岩澤委員代理・オンライン出席）、京王電鉄バス株式会社 西森氏（柏木委員代理・オンライン出席）、警視庁府中警察署 佐々木氏（中原委員代理）

(3) 欠席委員等（3名）

荒井委員、高野（淳）委員、佐藤委員

(4) 事務局（5名）

轟都市整備部次長、三輪計画課交通企画担当主幹、山下部計画課交通企画担当主査、蓑田計画課交通企画担当、荒井計画課交通企画担当

(5) 傍聴者

1名

4 議事

(1) 報告事項：特定事業計画について

(2) 報告事項：市民部会からの報告について

(3) 審議事項：次年度以降の進め方について

5 配付資料

(1) 次第

(2) 委員名簿

(3) 資料1-1 府中市バリアフリー基本計画 特定事業計画（素案）

(4) 資料1-2 面的・一体的なバリアフリー推進のための主な生活関連施設・生活関連経路及び特定事業

(5) 資料1-3 府中市バリアフリー基本計画 特定事業計画のレイアウト

(6) 資料2 市民部会からの報告（概要）

(7) 資料3 次年度以降の進め方

(8) 参考資料1 市民部会からの報告（詳細）

(9) 参考資料2 第1回協議会及び第2回市民部会の意見対応表

6 議事要旨

(1) 報告事項：特定事業計画について

- 東府中駅周辺重点整備地区における踏切の安全対策について実施時期の前倒し検討の要望があったほか、平和通りの街路灯の早期LED化や分電盤の再塗装などの改修対策の実施について意見があった。
- 踏切道については、昨年新たな道路の移動円滑化に関するガイドラインが改定され、視覚障害者誘導用ブロックの設置等の基準が示されたが、ガイドラインにあるような即時対応可能な対策と、全体を作り直すような長期的な対策とは分けて整理する必要があるとの意見があった。
- 特定事業計画がオープンデータ化されることを踏まえ、事業主体の予算等の都合で事業が進まない場合も協議会で確認及び管理していくよう意見があった。

(2) 報告事項：市民部会からの報告について

(3) 審議事項：次年度以降の進め方について

- 策定段階に加えて計画推進段階における当事者参加の重要性に関して、事業者が独自に意見聴取できない場合は市が間に入ることや、整備後の検証や計画の途中段階での当事者参加の場として次年度以降のまち歩きワークショップを活用することについて意見があった。
- 福祉や教育など他部署と連携する庁内検討会の活動状況について、来年度中に各部署と協議を進め、対応を具体化していくことについて議論があった。
- 一般市民向けのバリアフリーに関する啓発について、都市整備部と障害者福祉課等の役割分担と連携を整理し、重複を避けるべきと委員より意見があった。
- 協議会での意見交換内容を市民へ展開する方法について質問があり、ホームページや福祉まつりのパネル等で発信し、さらに意見を収集することで、相互理解につながるような方法を検討することについて議論された。
- 次年度のまち歩きワークショップの特定事業計画への反映について、実施時期や詳細が未定の事業はまち歩きワークショップでの意見を具体化の参考としていくことについて議論された。
- 特定事業がリスト化されたことを評価した上で、実施時期の優先順位や特定エリアの具体的な議論の場として市民部会を活用すべきとの意見があった。
- 商業施設のバリアフリー対応について、特定事業計画に「検討中」が多く、改善の見込みが不明であるとの意見があった。

以上